

はじめに

長めの英文を読んでその内容に関する設問に答えさせる長文読解問題は、必ずと言ってよいほどの大学でも出題されます。ただ、英文の長さがどのくらいか、設問はいくつあるか、設問形式はどのようなか、単なる空所補充問題形式なのか、要約させる形式なのか、さらには客観式なのか記述式なのかなど、その出題形式や出題内容は実に多様です。本書は、大別すると4種類の設問形式から成る客観式の問題で構成しました。

- (1) 物語風の英文を読んで、物語全体の流れを問う設問から成る問題
- (2) 英文の各段落の趣旨を問う設問から成る問題
- (3) 英文全体の内容を問う問題
- (4) 英文の内容に基づいて段落分けをする設問を含む問題

なお、設問はすべてオリジナルで作成したものです。長文読解問題に強くなるには、最低限以下の3点に気をつけると良いでしょう。

- (1) 実践的に問題演習をすること
- (2) 一定程度の語彙力を意識的に身につけること
- (3) 難解と思われる箇所があっても、そこにこだわらずに先に進む要領を身につけること

本書では実践的に学習できるように、目安となる「標準解答時間」を各問題に付しました。1回目は時間を計って時間内に解くようにしましょう。ゆっくりやれば正解できる問題でも、制限時間内でやらなければならないとなると結構間違ってしまうこともあります。問題を解く場合は時間を意識しながらやりましょう。

問題を解いた後、解答合わせをするわけですが、特に間違えた設問はなぜ間違えたのかをよく確認しましょう。単語の意味を間違えたのか、文の構造を取り違えたのかなど、間違えた原因をじっくり確認しましょう。確認作業が簡単にできるように、「解答・解説編」の最後に、語句や文構造・構文の中でも、重要なものをまとめてあります。確認や復習のために活用すると良いでしょう。

最後に言っておきたいことが1つあります。それは、「どんな長文を読んでも知らない単語はおそらく必ず出てくるものである」ということです。知らない単語は1語だけかも知れないし、5語とか10語のこともあるかもしれません。しかし、「知らない」ことにこだわらないでください。とにかく英文を最後まで読んで、それから初めに戻って読み直し、さらには設問を読んでみれば、文脈からあるいは設問から知らない単語の意味を推測できることもあるかもしれません。あるいは、知らない単語があっても正解を導くことは少なくありません。つまり、難解な単語は無視しても、正解を導くのに何の影響もないこともよくあります。それは、出題者は難解な単語が出てくる箇所とは関係のない箇所に関して設問を設けるのが普通だからです。このような点に留意すれば「要領よく正解を導く」コツも身につくことでしょう。そうすれば必ずや得点力をアップさせることができるはずです。

皆さんの奮闘を祈ります。頑張ってください。

2020年3月吉日

編者記す

目次

第1問	行方不明の15年間	4
第2問	私の父の秘密	9
第3問	増え続けるセルフサービス	14
第4問	記憶力を高める昼寝	19
第5問	英国における外食習慣の変化	25
第6問	離婚を切り出されて	30
第7問	都市の歴史	35
第8問	消えつつある公立図書館	40
第9問	スーパーマーケット	45
第10問	私の学生時代	51

付録1：本書に出てくる重要な文構造および構文一覧

..... 解答・解説編 142

付録2：本書に出てくる重要語(句)の一覧 解答・解説編 162

第1問 You are about to read a story about what happened to a post-office worker. After reading the story, complete the short summary given after the story by filling in to .

標準解答時間 18分

The Browns lived in a suburb of Dodge City. Joe had worked at the post office for 25 years. Married in 1960, he and Anne didn't have any children.

During February and March 1971, when he was 50,
5 Joe suffered a curious series of accidents. None was critical in itself. The combination, however, appeared to lead to a strange result.

Carrying out the garbage one evening, he slipped on the frozen steps, hurt his back and struck his head. A
10 few days later, driving to work, he suddenly sneezed, lost control of the car, hit a telephone pole and struck his forehead against the windscreen. The following day he fell and struck his head again. Ten days later he again lost control of his car and hit a pole. Found unconscious,
15 he was in hospital for three days.

On March 29, Joe borrowed a friend's car and drove to the airport to pick up Anne's brother and family. Then he took them to Anne's sister's house. When he returned the borrowed car at 10 p.m., he was unaware that the
20 wallet containing his identification had slipped out of his pocket onto the floor of the car. Joe declined the offer of a ride home: "I have a terrible headache and the walk will help clear my head." Usually the walk would take him about 15 minutes.

25 At 11:15 p.m., Anne called the owner of the car; he had no idea why Joe had not yet reached home. It was unlike Joe not to telephone if he was delayed. At 2 a.m., Anne called the police and reported her husband missing.

第1問

- 正解 問1 ③ 問2 ① 問3 ④
 問4 ④ 問5 ④

設問の訳と解説

■ 物語の要約 題名：行方不明の15年間

■ 大筋

初め

郵便局員のジョーは、幾度か事故にあい、そのたびに頭を打った。

中間

問1 ③

- ① ジョーは郵便局で働くのをやめる決心をして、家を出た。
「自分の意志で郵便局をやめた」とはどこにも書かれていない。
- ② ジョーは幾度か頭を打ち、そのたびに入院した。
英文番号7や9などに頭を幾度か打ったとあるが、そのたびに「入院した」とは書かれていない。
* be hospitalized 「入院する」
- ③ ジョーは彼の友人の家から帰る途中で行方不明になった。
英文番号14～19から、内容に合っているとと言える。
- ④ ジョーは運転がうまく、車を制御できなくなることは決してなかった。
英文番号8と10の内容に合っていない。車を制御できなくなることは幾度かあった。

問2 ①

- ① 「ジェームズ・ピーターズ」という名の下で、ジョーは何年も見知らぬ都市で働いた。
英文番号31～35と42の内容と合っている。
- ② ジョーは「ジェームズ・ピーターズ」という名前を彼の旧友の一人から取っていた。
英文番号32の内容と合っていない。「彼の旧友の一人から」名前を取ったわけではないからである。